

がんセンター だより

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——

2022年

3
月
発行
— Vol.5 —

目次

- がん相談支援センターの紹介
- 岩手県がんフォーラム
- がん教育講演会について
- 対話カフェ
- がん征圧月間・ピンクリボン
- がんサロンからのお知らせ
- 院内がん相談案内情報



がん相談支援センターの紹介

センター長 大塚 幸喜



保障制度などに関する相談、そのほかにも療養先に関するご相談、「重粒子線治療について知りたい」「ゲノム医療について知りたい」「治験・臨床試験について知りたい」「オンラインセカンドオピニオンを実施している医療機関を知りたい」「希少がんと言われたが、どうしたらよいのか」など多岐に渡っております。

また、当センターでは、岩手産業保健総合支援センターによる「仕事と治療の両立支援相談」やハローワークによる「長期療養者就職支援

相談」も行っておりますので、是非ご利用ください。

ご相談は、面談とお電話でお受けしております。当院に通院していない方からのご相談もお受けしております。がん相談の専門的な研修を受けた相談員が対応しますが、相談内容によっては、より正しい情報提供、相談支援ができるよう院内の多職種と連携し対応させていただいております。また、看護師と社会福祉士の複数職種での面談を積極的に行なっており、それぞれの専門を活かして相談支援にあたっております。患者さんからは、病気や治療のことと生活のことを合わせて相談することができて良かった等の感謝の言葉をいただくこともございます。心配なことがございましたら、一人で悩まず、ご相談ください。



当院は、岩手県のがん診療を牽引する都道府県がん診療連携拠点病院であり、県内各地から多くの患者さんが来院されております。「がん相談支援センター」は、がん診療連携拠点病院に設置されている、がんに関する相談窓口です。がんに関する様々な相談やこころの悩みを相談でき、誰でも無料でご利用いただけます。

寄せられるご相談は、「がんと診断された、どのような治療があるのか情報を得たい」「医師から説明をされたが、よくわからなかったので教えて欲しい」などの治療に関する相談、「セカンドオピニオンを受けたいが、どうしたらよいのか」「岩手医大の治療実績を知りたい」などの治療の選択に関する相談、「治療により後遺症が残ると説明を受けた。皆さんどう対処しているのか知りたい」などの副作用や後遺症に関する相談、「がんと診断された、職場になんと伝えたらよいのか」「がんと伝えたら辞めさせられるのではないかと心配」など治療と仕事の両立に関する相談、「医療費がどのくらいかかるか知りたい」「ケア用品の購入費用の助成について教えて欲しい」など社会



テーマ コロナ禍における がん検診の必要性

令和3年12月4日（土）盛岡市内にて、岩手県、岩手県がん診療連携協議会、岩手日報主催の「第14回岩手県がんフォーラム」が開催されました。

本フォーラムでは、「コロナ禍におけるがん検診の必要性」をテーマに、岩手県対がん協会の村上晶彦専務理事による基調講演や、多職種によるパネルディスカッションが行われました。

当センターからも、がん登録室長の西塚哲先生、がん相談支援センター長の大塚幸喜先生が出演し、がん検診の必要性について専門的な立場からお話させて頂きました。

フォーラムの中で、超高齢社会の中でがん罹患数は増加しており、がんによる死亡率低下のためには、早期発見と早期治療が不可欠であることが示されておりました。

最後に行われたQ & Aコーナーでは、県民の方々から沢山の質問が寄せられており、岩手県民の健康意識の高さを伺うことが出来ました。



下沖 収氏

村上晶彦氏

第1部 基調講演

テーマ:「コロナでも変わらぬ習慣がん検診」

座長 下沖 収氏(岩手医科大学附属内丸メディカルセンター センター長)

演者 村上晶彦氏(岩手県対がん協会 専務理事)



大塚幸喜氏

西塚 哲氏

佐藤真美氏

第2部 パネルディスカッション

テーマ:「岩手県におけるがん検診の現状と今後の展望」

座長 下沖 収氏(岩手医科大学附属内丸メディカルセンター センター長)

パネリスト 大塚幸喜氏(岩手医科大学附属病院 がん相談支援センター長)

西塚 哲氏(岩手医科大学附属病院 がん登録室長)

佐藤真美氏(遠野市健康福祉部 健康福祉の里 健康長寿課係長)

昨年に引き続き、残念ながら今年の岩手県がんフォーラムも無観客開催となりましたが、この様子は岩手日報の新聞紙面や岩手日報公式ホームページでご紹介されております。是非ご覧ください。



がん教育

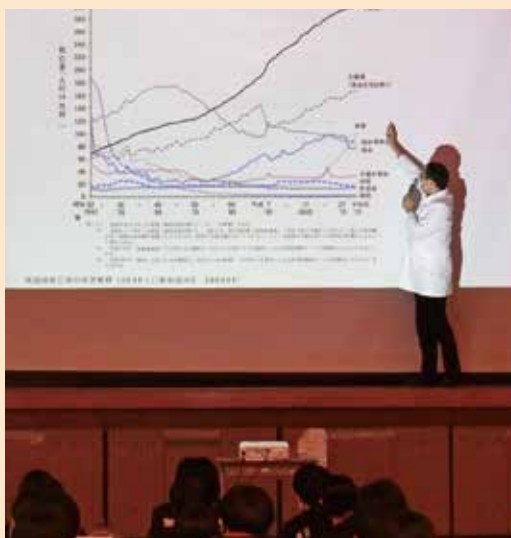
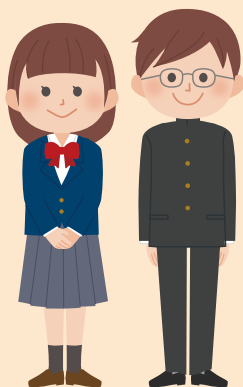
高校生に対する
がん教育を行いました



がんセンターでは、岩手県内の高等学校で開催される「がんの教育講演会」へ講師派遣を行っており、今年度は、岩手県内6校にて講演を行わせて頂きました。これからも、がんに関する正しい知識の普及活動に努めて参ります。

令和3年度県立学校 「がんの教育講演会」 の開催状況(開催順)

盛岡峰南高等支援学校
盛岡青松支援学校高等部
盛岡第四高等学校
盛岡第一高等学校
盛岡北高等学校
盛岡商業高等学校



肺がんの死亡率が一番高いことを初めて知った。

がん細胞が、合成と分裂のスピードが速い事を利用して、がんの増殖を抑える仕組みを知ることができた。

家族や身近な人が健康であってほしいと思う

受動喫煙の恐ろしさを改めて実感。

積極的に検診をうけ、早期発見が大切。

たばこを2000本吸ったら、普通の人肺には戻れなくなる。とても恐怖を感じた。

自分の身体の状態に気を遣いたい。

がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う

高校生からの 主な感想 VOICE

がんのほとんどが上皮性だと初めて知った。器官の内部にがんが生じていると思っていたので驚いた。

たばこ、絶対に吸わない!吸わせない!予防が大事!

早期発見すれば、がんは治りやすい

がんセンター企画 もっと知りたい! がんの診断と治療の最前線



岩手医科大学附属病院 がんセンター

がんセンターでは、コロナ感染拡大に伴い、患者さんとそのご家族に対するがん関連情報が十分に発信されていないことを踏まえ、これまでがんセンターが取り組んできた医師との「対話カフェ」を新たに収録し最新情報をお届けいたします。下記、公式 YouTube チャンネルで動画を公開しておりますので是非ご覧下さい。

① 肺癌治療と全身治療

前門戸 任 先生
化学療法センター長



⑤ がんゲノム医療

菅井 有 先生
がんゲノム室長



② 多発性骨髄腫の診断と治療の進歩

伊藤 薫樹 先生
がんセンター長



⑥ アドバンスケアプランニング (人生会議)をご存知ですか?

木村 祐輔 先生
緩和ケアセンター長



③ 泌尿器がんと ロボット支援手術

小原 航 先生
がん診療連携室長



⑦ コロナ禍だからこそ 大事な大腸がん検診

大塚 幸喜 先生
がん相談支援センター長



④ 放射線治療の最前線

有賀 久哲 先生
放射線部門



⑧ がん登録から わかること

西塚 哲 先生
がん登録室長

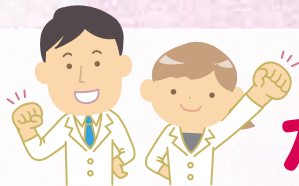


学校法人岩手医科大学 公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCWMILNlL_OnLX3ftq2-YR9A/videos



QRコードは
こちら

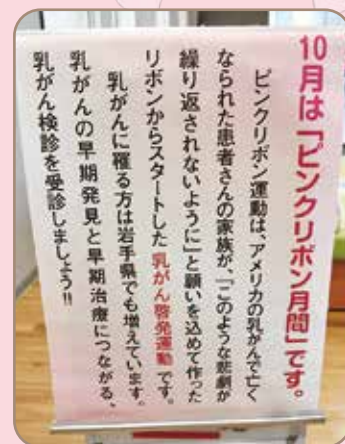


岩手医大に入院している子どもたちが、がん征圧月間に合わせて、壁面制作を行いました。子どもたちのほとんどは、就学前の小さな子どもたちで、みんなで花火が見たいねというお話から、テーマは「花火」で制作してくれました。どれも可愛い花火で、当サロンのお部屋がとても和みました。



ピンクリボンイベント

「乳がんが悲しむ人をひとりでもなくしたい」そんな願いをこめて、今年も当サロンにピンクリボンツリーを飾り、乳がんの正しい知識と早期発見・早期治療の推進について呼びかけを行いました。ピンクリボン月間中は、来訪した患者さんにも、乳がん撲滅への思いをこめてツリーにピンク色のリボンを結んで頂きました。



がん患者・家族サロンからのお礼



タオル帽子



コットン帽子



まけないゾウ



50羽折り鶴キーホルダー



折り紙作品



手づくりイヤリング・ピアス

岩手ホスピスの会の皆様、アイリスの会の皆様、有志の皆様より、今年度もたくさんご寄付を頂きました。おかげさまでたくさんの患者さんにお渡しすることが出来ました。誠にありがとうございました。



七宝鞠



トラ人形

患者さんより沢山の感謝メッセージが届いております。

本当にありがとうございました。

初めまして、こんにちは
童謡の「ぞうさん」という歌がありますね、歌詞の最後は「そうよ 母さんも長いのよ」と代々、引き継がれてきた自分の命の番をしっかりと生きたいと思いの中で、タオルのゾウさんに会えて心がほっこり♥しました。やさしいお目目で見つめていてくれます。本当にありがとうございました。

ステキなコットン帽子をありがとうございます。
一目で気に入ってしまいました、かわいらしくユーモアな模様は私の心を和ませてくれました。本当にありがとうございました。

いただいた帽子は汗を吸ってくれるのでとても被りやすかったです。
髪が抜けることは、大きなことなので、この帽子をかぶって治療をがんばります。

すてきなピンクのぼうしありがとうございます。
わたくしはなんせいです。
たいせつにします。

タオル帽子をこんなに丁寧に作っていただきありがとうございます。タオルの軽さ心地よさを実感することができました。体にやさしいタオル帽子を使用できとても助かりました。ありがとうございます。

大好きな黄色のまけないゾウと一緒に戦っていきます。

帽子をいただきました。ふわふわして触り心地がいいです。
不安ばかりの毎日ですが、応援して下さい気持ちがとてもうれしく、少し元気が出てきました。皆様ありがとうございます。



院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなくどなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめ日時をお約束することをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平 日 (月～金) 9:00～16:00
第1・第4土曜日 9:00～12:00
岩手医科大学附属病院 1階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111 (内線 3222)

平 日 (月～金) 10:30～16:30

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 2階 20番



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだより5号をお読み頂きありがとうございます。なかなか思うようにイベントが再開できない状況にありますが、今後も皆さまに役立つ情報を発信出来るよう努めて参ります。今後ともご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



岩手医科大学

問合せ先

岩手医科大学附属病院 がんセンター
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1-1

TEL 019-613-7111
(内線 3222)